

Indonesia Week (YRA活動紹介)

8月5日(土)、会館に住んでいるインドネシアの留学生と彼らの友人たちが集まり、インドネシアの文化を紹介するイベント「Indonesia Week」を開催しました。会館の留学生や地域の方々に、インドネシア風チャーハン「ナシゴレン」の調理、伝統的な楽器や舞踊の披露などをしました。その他に、インドネシアのお茶、揚げ物や豆スープも提供しました。実は、この企画は留学生たちからの発案で、準備段階では1ヶ国のみで企画が成立するか不安でしたが、地域からも多くの参加を得てイベントをみんなで楽しむことができました。



インドネシアの楽器
アンクルンゴの紹介

バングラデシュの歴史・観光・生活

エラヒィ カジ ファズラ(関東学院大学大学院)

8月26日(土)、潮田地区センターでバングラデシュの文化講座の講師として母国に関するお話をさせていただきました。ベンガル地域は非常に長い歴史を持っていますが、今回はバングラデシュ独立後の歴史に注目しました。そして、ベンガルのお正月、通貨、経済、宗教、季節、結婚式、世界最大のマンゴローブ林であるシュンドルボン、国の指定動物であるロイヤルベンガルタイガー、などの話をさせていただきました。途中で休憩を挟み、参加者と一緒にバングラデシュのお茶とビスケットを食べながら質疑応答を行い、交流をしました。来日してから5年以上経っていますが、母国に関して話す機会がほとんどなく、今回の文化講座の資料作成や参加者との交流を通して、自分自身も母国について深く学ぶことができました。



潮田地区センター共催文化講座

よこはま地球村

横浜市国際学生会館ニュース

学生会館のマスコット
ラブアースベア

2023
No.118



横浜市国際学生会館は、留学生等への宿泊施設の提供と市民の国際理解を目的として横浜市が開設し、公益財団法人 横浜市国際交流協会が指定管理者として管理・運営しています。

復活! 『グループ語学サロン・語学教室』

新型コロナウイルスの影響で休止していた「グループ語学サロン」と「語学教室」が2019年度以来3年ぶりに対面で開催。市民と留学生が直接会話をすることで、和やかな交流が進みました。

《グループ語学サロン》

～3、4人で1グループ～
英語(7/23)、中国語(7/29)と韓国語(7/29)の3言語でのグループ語学サロンに、ザンビア、パナマ、パキスタン、バングラデシュ、中国、韓国出身の留学生と21人の参加者が会話をしました。この3年間はコロナのためZOOMで開催していましたが、久しぶりの対面開催は講師にも参加者にとっても大満足でした。

【参加者からのコメント】

- ぶだん関わりない国の講師との会話でその国の文化を知ることができて大変よかったです。
- 直接顔を見て話すことができ、色々なことを学べたことに意味があった。
- 聞き取りで精一杯でしたが、知っている単語で話を聞けて楽しかったです。



ザンビアの生活について英語で会話

《語学教室》

～1言語3回連続～
学校の夏休みに合わせて8月中に4言語(モンゴル語、ウズベク語、韓国語とウルドゥー語)の語学教室を実施し、中学生から大人まで15人が参加しました。受講者は各言語での文字・数字、発音、文法と共に、自己紹介、食事の注文や買い物の仕方、名所の訪ね方など実践で役立つ表現などを学びました。講師の故郷の歴史や文化を交えた話に、受講者が肩の力を抜き、楽しみながら語学に親しみ、授業終了後も講師を囲んで話がつきませんでした。



モンゴルの乳酸菌飲料(カルピスの元祖)について知る



ウズベク語でバザールでの値交渉の仕方を学ぶ

【参加者からのコメント】

- 日本語教師としてモンゴル生徒を教えることになり、モンゴル人の気質と言語の構造を急ぎ知りたく参加しました。短期間でしたが目標を達成でき、満足です。
- 20数年前、現地に駐在した折はロシア語で暮らしていたので以前からウズベク語を学びたいと思っていました。講師がその当時の知り合いとわかり、運命的な再会に感激しています。参加してよかったです。
- インド映画の大ファンでヒンディー語を3年間学んだ経験があります。今回、ウルドゥー語との違いがわかり、さらに面白さにはまりました。
- 1週間後に韓流アイドルのコンサートに参加する予定なので、簡単な自己紹介ができるようになりたくて参加しました。今から楽しみです。



複雑な韓国語の発音を学ぶ



パキスタンのお金の種類と数字を学ぶ

学生会館からのお知らせ

ホームページ<<https://yish-yoke.com>>

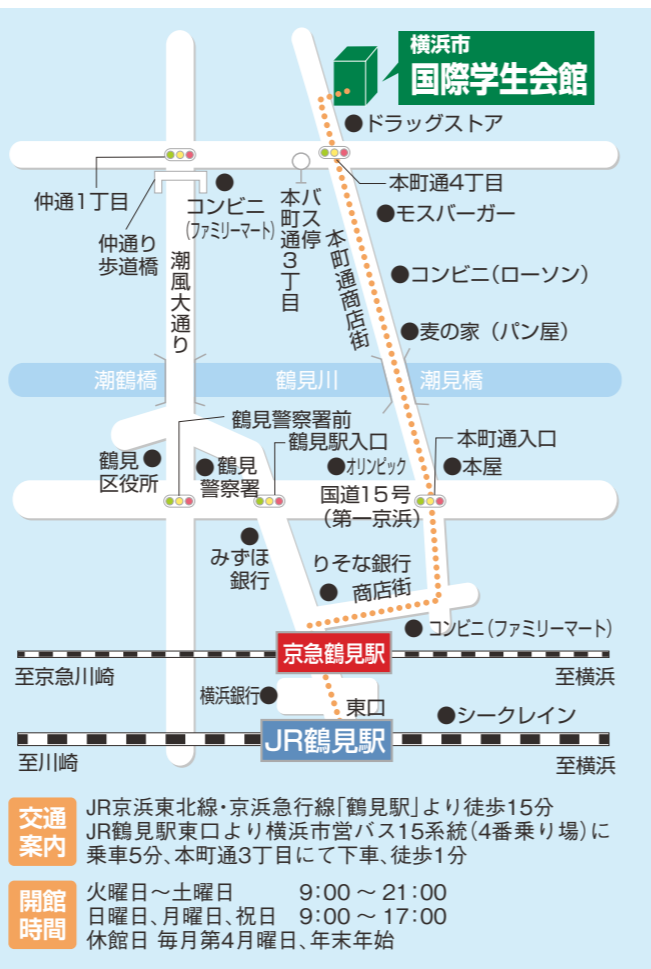
◆2024年度入居者募集

入居募集案内及び申請書を配布中です。
学生会館のホームページからダウンロードできます。
申込期限:2024/1/4(木)～1/27(土)17:00必着
※申請の締切日については、学校に確認してください。



◆留学生による研究発表会

- 留学生がそれぞれの研究内容を発表します。
- 日 時:2024年2月24日(土)13:00～16:00
 - 場 所:学生会館 3階 ホール
 - 発表言語:日本語と英語
 - 参加申込:
2024年1月上旬にホームページで案内予定
 - 参加費:無料



交通案内 JR京浜東北線・京浜急行線「鶴見駅」より徒歩15分
JR鶴見駅東口より横浜市営バス15系統(4番乗り場)に乗車5分、本町通3丁目にて下車、徒歩1分

開館時間 火曜日～土曜日 9:00～21:00
日曜日、月曜日、祝日 9:00～17:00
休館日 毎月第4月曜日、年末年始

■発行:横浜市国際学生会館(YISH)
〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4-171-23
Tel.045-507-0121 Fax.045-507-2441
Email:yish@yoke.or.jp
ホームページ:<https://yish-yoke.com>
■印刷/デザイン:ツルミ印刷株式会社

シリーズ 母国の風景 ケンペレ



私はフィンランド出身の22歳の大学生で、横浜市立大学で交換留学生として1年間経済学と経営学の勉強をしに来日しました。日本という国に魅了されているので、交換留学先に日本を選びました。
私の故郷は、フィンランド北部にある「ケンペレ」という人口約19,000人の小さな町です。フィンランドの他の町や都市に比べて面積も人口も小さいにもかかわらず、毎年移住する人が多く、人気のある町です。「ケンペレ」には、子どもたちが遊ぶ場所や子ども向けの公園が多いため、特に小さな子どもがいる家庭には最適な町です。
フィンランド北部のほとんどの町と同様、「ケンペレ」にも四季があります。夏は晴れて暖かく、秋は雨が多く、冬は雪と氷が多くて寒く、春は雪が溶けてほとんど湿っています。

「ケンペレ」の最も有名なランドマークは私たちの町の古い教会です。この教会は国内にある最も古い木造教会の1つです。この教会は1691年に建てられ、今でも使用されています。それ以外に「ケンペレ」には特別な魅力はありませんが、私にとって故郷と呼ぶとても大切な場所です。

ヴェーッティ ミッカネン
(横浜市立大学)



横浜市国際学生会館ニュース

よこはま地球村

2023年 冬号
2023年12月1日発行 第118号

久しぶりの通常開催!

秋まつり

潮田交流プラザ 秋まつり

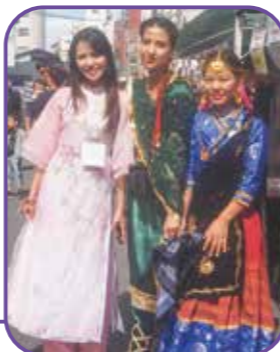
9月24日(日)

イベント報告

今年度の秋まつりは、コロナ明けで久しぶりの、通常通りの開催となりました(昨年は小規模開催でした)。留学生たちの反応も、どうだろうか、と心配していましたが、カフェや屋台の企画に、13か国の国・地域の学生が、参加を希望してくれました。

インターナショナルカフェ

毎年、カフェは、お菓子とお茶で交流をしていましたが、今年度は、学生から料理を作り試食して欲しいという声が多かったのが印象的でした。学生たちも、沢山のひととの交流を待ち望んでいたようで、また参加したいという声が多く聞かれました。



シュルツ ベネディクト ファイレフィッツ
(オーストリア・横浜市立大学)

秋まつりにボランティアとして参加してとっても良かったです。色々な国から来た人たちと話したりその国の料理やお菓子を食べてたりして楽しめました。



何 穎桐

(香港・フェリス女学院大学)

学生会館に住み始めて、初めて大きなイベントに参加しました。みんなで台湾のルーロー飯を作って販売しました。香港にいた高校生の頃はコロナでお祭りはできませんでした。初めてお客さんではなく、自分がお店側の人として参加して良い経験ができました。[写真左]

タマン カビタ

(ネパール・岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校)

ネパールのカフェでは、チウラ(ネパールのお米)、アチャール(漬物のような煮物)、マサラティを出しました。お客さんがみな「おいしい」と言ってくれました。とても良かったです。[写真右]

アフアンボエ セナ ジュレ パスカル

(ベナン・東京都市大学大学院)

子ども達が、色々な国の食べ物や文化、人と直接触れ合える良い機会だと思いました。自分も楽しめました。



エラヒ カジ ファズラ

(バングラデシュ・関東学院大学大学院)

沢山の人が来るお祭りで、自分で出店するのは初めてでした。お客さんが、作ったものを「おいしい」と言ってくれたことが嬉しかったです。またやってみたいです。[写真左]



ニヌヤ

(ミャンマー・フェリス女学院大学)

お客さんの笑顔がとっても印象的でした。また、他の国々のお料理が美味しかったです。会館のスタッフの協力が嬉しかったです。またこのような機会があったら参加します。[写真左]



アブラハム ウィンタ テクル

(エチオピア・留学生の家族)

エチオピアの料理を多くの人に提供するの初めての経験で、家族でとても楽しみました。このイベントを通じて、学生会館に住んでいる色々な国の留学生とも交流することができました。[写真右]



アルバ フランチェスカ

(イタリア・横浜市立大学)

屋台で台湾のルーロー飯を手伝いました。ルーロー飯を初めて食べましたがおいしかったです! お客さんも親切で良かったです。[写真右]



国際屋台村



みんな真剣に調理中



親子でお店の宣伝をしました



モンゴルの揚げギョーザを販売したフスレンさん一家

レズギ シリア(フランス・横浜市立大学)

かき氷を初めて食べました。本当に素晴らしい! 屋台の前で「いらっしゃいませ〜」と呼び込みをしましたが、日本人のみなさんとたくさん話すことができました。ボランティアのみなさんがやっていた抹茶も楽しかったです。[写真左]



ヴーティ ヴァン アイン

(ベトナム・アーツカレッジヨコハマ)

他の国の食べ物も美味しかったです。茶道も経験できて良かったです。カフェで出した食べ物についてどんな食べ物か、何度も聞かれました。[写真右]



羅 曼琦(中国・関東学院大学)

自分の国の事を他の国の人に紹介できて楽しかったです。色々な国の人と交流ができて、異文化の勉強になりました。[写真前]



ミンドリン シャビエル エレナ(ブラジル・アメリカカナダ大学連合日本研究センター)

最近学生会館に引っ越してきたのでまだ他の学生たちと話す機会がありませんでした。みんなとお手伝いをしたり、色々な美味しい食べ物を試したり、お客様とも話したりしました。面白い話を聞いて、その上良い日本語の練習になりました。次のイベントも楽しみにしています。



池島志音(日本/レジデントアシスタント・横浜市立大学)

たくさんの方にご来場いただき、地域の方々とお祭りを作り上げることができてとても良かったです。初めての料理もたくさんいただけて、嬉しかったです。[写真右]



才田さりな(学生会館ボランティア、小学生の娘さん息子さんと参加)

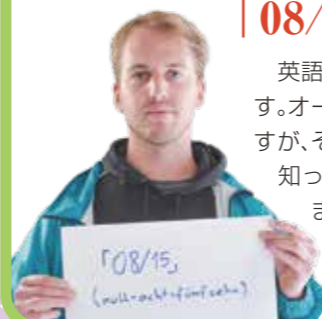
みなさん! お抹茶と落雁はいかがでしたか? みんなで楽しく準備をしました。お抹茶の苦みが少し心配でしたが「おいしい!」の笑顔がとってもうれしかったです! [写真右から3番目]



なるほど! おもしろい! 世界のことは

~オーストリア~

「08/15 (null-acht-fünfzehn)」



英語では「ゼロ・エイト・フィフティーン」と発音します。オーストリアでは一般的に使われていることばですが、その由来やなぜその意味で使われているのかわっている人は少ないので、今回紹介したいと思います。

このことばは、第一次世界大戦中にドイツ軍が使用したマシンガン「MG 08/15」

(MG 08 model 15)」に由来しています。当時、MG 08/15 を使用したドイツ兵たちは毎日同じスケジュールで使い方の練習を繰り返していたため、退屈になり、練習が無意味に思い始めたそうです。また、MG08/15は大戦中に大量生産されたため品質が低かったということです。

このような由来から、あまりにも一般的で価値のないものや安い店で購入した品質の悪いものなどを表すときによく使われます。例えば、炊飯器の説明として「08/15」を使いますが、サービス業に対して「08/15」は使いません。

今日では、マシンガンについての説明であったことを知る人はほとんどいません。

シュルツ ベネディクト ファイレフィッツ(横浜市立大学)